



認定看護管理者として日々奮闘しています

京都民医連中央病院副看護部長 小泉智香子

京都保健会の看護部は総勢700名、うち看護管理者は55名、そのうち認定看護管理者は5名の集団になり、京都協立病院、吉祥院病院に各1名、中央病院で3名がそれぞれの役割を担って奮闘しています。この間「看護の質の向上」を目標に各分野の認定看護師の養成とともに、看護管理者の育成をめざして積極的に看護協会主催の研修会に派遣しています。

認定看護管理者とは、「日本看護協会の看護管理者認定審査に合格し、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることが出来る能力を保有していると認められた方。多様なヘルスニーズを持つ個人や家族や地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することにより、保健医療福祉に貢献します。」と規定されています。看護管理の教育課程（3ステップ：ファースト・セカンド・サードレベル）の中で、看護組織管理から看護師確保、キャリア開発、医療経済の構造についての理解、サードレベルでは看護現場の現状分析とデータ化、職能団体、行政機関等への提示、経営管理の視点でマネジメントの展開ができ

ることを求められています。合わせて、民医連組織で働く看護師として「無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す」民医連綱領を実践する看護師育成が求められています。

管理実践においては自分の経験と知識を駆使し、現場の看護師がケアにこだわり、患者様の背景を掴み、情勢を捉え、地域、社会のしくみにまで「手あて」できる看護師へと成長できるようにづくり・職場づくりにこだわっています。

看護管理者として、情勢を捉え、組織分析から病院方針とあわせ、看護としてのビジョンを明確に示し協働していく看護師集団を組織することが大切です。そのためにはアンテナの感度を上げ、的確で迅速な判断と行動力を持たなければと、日々自分に叱咤激励を送っています。激動する医療情勢の中で、系統的に看護管理について学んできた集団として、今後その真価を発揮していきます。



京都府初の老人看護専門看護師誕生

京都民医連中央病院の長谷川美智子看護師が老人看護専門看護師の資格を取得しました。京都府で初の誕生です。

専門看護師は、日本看護協会専門看護師認定試験に合格し、複雑で解決困難な健康問題を抱えた人々たちに対して、水準の高い看護ケアを提供するため、特定の専門看護分野の知識及び技術を深めた看護師です。専門看護師は、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つの役割を果たします。老人看護分野の質向上に役割が期待されます。

友の会 活動家紹介

吉祥院健康友の会 物部文信さん



吉祥院健康友の会には、それぞれ得意分野をもったたくさんの運営委員・協力委員・ボランティアさんがおられ、どの方を紹介しようか迷ったのですが、副会長の物部文信さんを紹介します。

物部さんはかれこれ10数期、運営委員を務められ、ここ数年は副会長として会員台帳管理など事務局の中枢を担っていただき、またレク担当として日帰りや一泊の旅行など、いつも楽しい企画を考えてもらっています。また、毎月の事業所との定期協議では、必ず経営のことを率直に質問されます。昨年10月、吉

そんな物部さんですが、ちょっと気になるのは、「血圧が高め、ビールがとて大好き」ということです。これからも健康で過ごされ、また力をお借りしたいので、できれば時々は受診してほしいな、と思っ今日この頃です。

(吉祥院病院 山路卓也)



京都民医連創立60周年記念 2013年新春のつどい

1月5日(土) 午後3時15分開場